

## 作家たちの表現の根源に触れて、展覧会をより深く楽しもう

# 展覧会「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-」 ウォーミングアップ企画を開催

東京都渋谷公園通りギャラリーは、展覧会「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-」（2024年2月10日-5月12日）をより深く楽しむためのイベントとして、「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-」ウォーミングアップ企画を2024年1月13日(土)から1月28日(日)、2月3日(土)の日程で開催します。

ウォーミングアップ企画では、作家ごとに、自宅トイレに設置されたインスタレーション作品の再現、微生物の発酵熱を活用した作品の滞在制作、福祉施設の日常を切り取ったドキュメンタリー映画の上映、渋谷の街で実施する清掃活動やラジオ収録といったイベントを行い、展覧会とは違った角度から作家たちの活動や表現をご紹介します。本企画を通して、毎日だれもが行う排せつ行為や個人的な日常のふるまい、人知れず行われているゴミ拾いから微生物の働きまで、大なり小なり目には見えにくい「循環」と「つながり」のあり方を感じていただき、出展作家それぞれの表現行為、その根源に触れる機会となることを願います。 ※展覧会「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-」についての詳細は[こちら](#)をご参照ください

### ウォーミングアップ企画 詳細

#### 折元立身《ボッシュ・トイレ・ミュージアム》の再現展示

日時：2024年1月13日（土） - 28日（日） 13:00-18:00

休館：月曜日

場所：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室2

《ボッシュ・トイレ・ミュージアム》は、折元立身の自宅トイレ内に設置されたインスタレーション作品です。トイレ室内には、ヒエロニムス・ボッシュ（ボス）の有名な三連祭壇画《快樂の園》が拡大コピーされてコラージュされています。生活空間に芸術作品が介入する様子は、生活と芸術の境界を揺るがし続ける折元の制作態度を端的にあらわしているともいえるでしょう。今回は、自宅トイレ室内の再現を行い、合わせて鑑賞者が中に入ってポートレート写真を撮り、その写真を壁面に貼りつけていくことで展示が展開していきます。



1. 折元立身《ボッシュ・トイレ・ミュージアム 折元男代96歳》  
2015年 作家蔵 提供：アートママファウンデーション

#### 折元立身 (ORIMOTO Tatsumi) 1946 -

神奈川県川崎市生まれ。現代美術の前線で40年近く活躍する現代美術家。顔にパンを巻き付け街中に繰り出すパフォーマンス「パン人間」や自身の母の介護を作品とする「アート・ママ」など、生活と芸術の境界を揺るがしながら、コミュニケーションのあり方を愛とユーモアを交えて問いかける作風が国際的に高い評価を受けている。近年の主な個展に「折元立身-昔と今-」（尾道市立美術館 [広島]、2018年）など、国内外の美術館での展示歴が多数ある。



## 村上慧による滞在制作

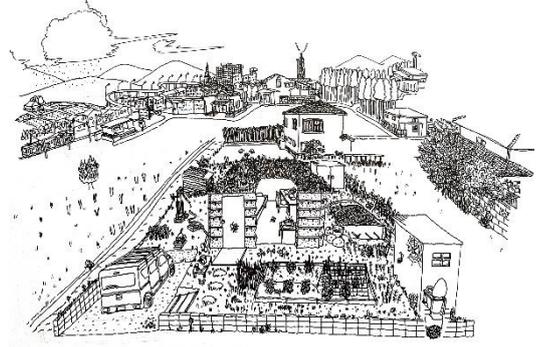
日時：2024年1月13日（土）－28日（日）13:00-18:00

休館日：月曜日

※滞在制作中、展示室に入ることにはできませんが、会場の外からはご覧いただけます。  
ただし、作家がいない日や時間があります。

場所：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

村上慧は、落ち葉に付着した微生物が有機物を分解するときに出る熱を活用した作品を制作します。目には見えない微生物の働きは、わたしたちの体内から世界中のあらゆる場所で起きています。「住むことのパターン」を展開してきた村上による、会場での滞在型の制作期間となります。



2. 村上慧《村上勉強堂のドローイング》2023年 作家蔵

### 村上 慧 (MURAKAMI Satoshi) 1988 -

東京都生まれ。2014年より、自作の発泡スチロール製の家を持ち運びながら国内外で移動生活を行うプロジェクト「移住を生活する」を行い、既存の住居や生活様式を問い直してきた現代美術作家。「住むことのパターン」を展開している村上は近年、落ち葉の発酵熱や気化熱の冷房効果を利用するなど、電気を使わない冷暖房空間の開発に取りくんでいる。近年の展示に「村上慧 移住を生活する」（金沢21世紀美術館〔石川〕、2020-21年）などがある。

## 特別上映「地蔵とリビドー」&アフタートーク

日時：2024年1月20日（土）14:00-16:30

場所：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1

参加：30名（事前申込・先着順）

申込方法：ウェブサイトからお申し込みください。

申込期間：

2023年12月18日（月）-2024年1月15日（月）

※定員に達したら受付終了します。

申込フォーム：<https://inclusion-art.jp/form/index.php?no=35>



3. 酒井美穂子 映画「地蔵とリビドー」の場面より 2018年 ©PR-y

2018年に制作され各地の映画館や文化施設で上映されてきた、やまなみ工房のドキュメンタリー映画「地蔵とリビドー」を上映します。上映後、やまなみ工房施設長の山下完和氏とのアフタートークを行います。

※展覧会「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-」には、やまなみ工房所属の作家、酒井美穂子が出展しています。

### 酒井美穂子 (SAKAI Mihoko) 1979 -

滋賀県生まれ。1996年から「やまなみ工房」に所属している。酒井は28年以上、どこであってもだれと居ようとも、即席麺「サッポロ一番しょうゆ味」を片時も放さない。それを食べるわけでもなく、ただ握り、ビニールの擦れる音を聞き、微かな反射を眺めつづけている。人と物との間に流れる時間や無言のやり取りは、酒井にとってのかけがえのない瞬間を感じさせる。近年の展示に「無意味、のようなもの」（はじまりの美術館〔福島〕、2018年）などがある。

## スウィングによる清掃活動「ゴミコロリ」実施と「Swing 鼻クソ RADIO」収録

日時：2024年2月3日（土）

午前の部：10:00-12:00（ゴミコロリ）

午後の部：14:00-15:00（Swing 鼻クソ RADIO）

場所：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室2

参加：午前・午後 各20名ずつ（事前申込・先着順）

申込方法：ウェブサイトからお申し込みください。

申込期間：2023年12月18日（月）-2024年1月22日（月）

※定員に達したら受付終了します。

申込フォーム：<https://inclusion-art.jp/form/index.php?no=36>



4. スウィング 「ゴミコロリ」の様子より 2019年  
撮影：スウィング

渋谷の街で出張「ゴミコロリ」を実施します。「ゴミコロリ」とは、スウィングが2008年より15年にわたって月1回ペースで実施している清掃活動のこと。「ゴミコロリ」でひと汗流した後は、スウィングが定期的に配信している「Swing 鼻クソ RADIO」の収録（30分程度）を行います。収録の様子は別室でご覧いただき、収録後に参加者も合流して質問タイムとします。

### スウィング（Swing）2006 -

スウィングは2006年より京都にて活動を開始した、障害のある人ない人およそ30名が働く福祉施設。既存の仕事観や芸術観にとらわれない自由な仕事や表現活動を基軸とした事業を行っている。清掃活動「ゴミコロリ」、絵画や詩やコラージュの創作活動「オレたちひょうげん族」のほか、展覧会の実施やフリーペーパーの出版、ラジオ配信など、自主的な発信を伴う活動は多岐にわたる。近年の展示に「Swing×成田舞×片山達貴 展覧会『blue vol.2 - 捨てられないものが物語ること』」（THEATRE E9 KYOTO [京都]、2022年）などがある。

### ウォーミングアップ企画 概要

企画名：「共棲の間合い-『確かさ』と共に生きるには-」ウォーミングアップ企画

開催日時：2024年1月13日（土）-28日（日）13:00-18:00

2024年2月3日（土）10:00-15:00

休館日：月曜日

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1、2、交流スペース

入場料：無料

作家：折元立身、酒井美穂子、スウィング、村上 慧

主催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

東京都渋谷公園通りギャラリー

ウォーミングアップ企画ウェブサイト：

[https://inclusion-art.jp/kyouseinomaai\\_warmingup.html](https://inclusion-art.jp/kyouseinomaai_warmingup.html)

\*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

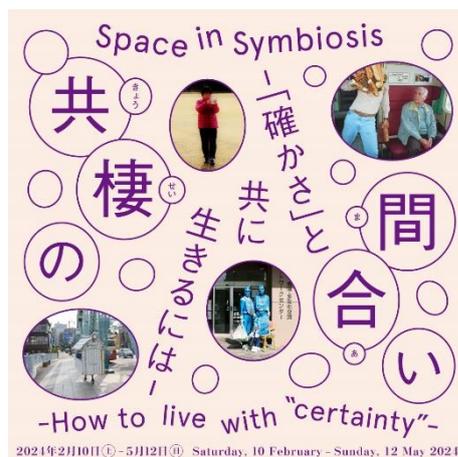


5. 「ウォーミングアップ企画」バナー画像



## 展覧会「共棲の間合い - 『確かさ』と共に生きるには-

展覧会名：共棲の間合い - 「確かさ」と共に生きるには-  
会 期：2024年2月10日（土） - 5月12日（日）  
開館時間：11:00 - 19:00  
休 館 日：月曜日（2月12日、4月29日、5月6日は開館）、  
2月13日、4月30日、5月7日  
会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー  
展示室1、2、交流スペース  
入 場 料：無 料  
出 展 作 家：折元立身、酒井美穂子、スウィング、村上 慧  
主 催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館  
東京都渋谷公園通りギャラリー  
展覧会ウェブサイト：<https://inclusion-art.jp/s/kyouseinomaai>



6. 展覧会「共棲の間合い」バナー画像



\*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 東京都渋谷公園通りギャラリーについて

2020年2月にグランドオープンした当ギャラリーは、アール・ブリュット等の振興拠点として、アートを通して、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示や、新設した交流スペースを活用した対話的で創造的な交流プログラムを展開しております。



東京都渋谷公園通りギャラリー外観 撮影：中村 晃

## 広報用画像について

本リリースに掲載した画像データをご用意しております。ご利用希望の際は、広報担当までお申し込みください。リリース掲載画像以外をご希望の際も、広報担当へご相談ください。

本リリースにかかるお問い合わせ（取材申し込み・広報用画像など）

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 文化共生課

Tel : 03-5422-3151 Fax : 03-3464-5241 E-mail : inclusion@mot-art.jp



[取材・画像使用申込書]

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

E-mail : inclusion@mot-art.jp Fax : 03-3464-5241

## 取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要な事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。また、本展覧会の広報用素材として6点の画像をご用意しております。希望されます場合は、希望画像をご記入の上、お申し込みください。

リリース掲載画像以外をご希望の際も、広報担当へご相談ください。

取材希望

画像使用希望

貴媒体名：	発売・放送予定日：
種別： TV ラジオ 新聞 出版媒体 WEB フリーペーパー その他（ ）	
貴社名：	ご担当者氏名：
Eメールアドレス：	
TEL：	FAX：
ご住所：	
取材希望日時：	

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ・ 掲載画像に添えて、当該作品のクレジット（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を明記してください。
- ・ 掲載画像のトリミング、文字載せはお控えください。
- ・ 記事掲載・放送日が決まりましたら、事前にご連絡ください。併せて、掲載内容もお知らせいただけますと幸いです。
- ・ 掲載・放送後、掲載誌（紙）PDF、DVD、CD、URL 等のご惠贈をお願いいたします。

## 使用希望画像

本リリース掲載画像のキャプションについている番号に印をお付けください。その他の画像をご希望の際は、その他の欄にご記入ください。作品画像掲載の際は必ずキャプション及びクレジットの表記をお願いいたします。

- 1. 折元立身《ボッシュ・トイレ・ミュージアム 折元男代 96歳》2015年 作家蔵 提供：アートママファウンデーション
- 2. 村上慧「村上勉強堂のドローイング」2023年 作家蔵
- 3. 酒井美穂子 映画「地蔵とリビドー」の場面より 2018年 ©PR-y
- 4. スウィング 「ゴミコロリ」の様子より 2019年 撮影：スウィング
- 5. 「ウォーミングアップ企画」バナー画像（正方形・横長・チラシ画像）
- 6. 展覧会「共棲の間合い -『確かさ』と共に生きるには-」バナー画像（正方形・横長・ポスター画像）
- その他（ ）